



あさひかわ応援寄附金 (ふるさと納税)について

市では、まちの魅力を広くPRするとともに、まちづくりの財源を確保するため、ふるさと納税の取組を推進しています。取組の一部と収支状況を紹介します。

【詳細】税制課金25・5604



フェイスブックを
チェック

マイタウンあさひかわ

ふるさと納税の取組を紹介
放映 HBC 9月23日(日)
午前6時30分～45分
※放送終了後は市HPで視聴可。

寄附金の主な使い道

子育て支援

経済的な理由により修学が困難な方に
入学仕度金・奨学金を貸し付け

3,875万2千円

まちなかの活性化

まちなかのにぎわいをつくるため、買物
公園などでのイベント開催を支援

191万3千円

高齢者福祉



高齢者が地域とのつながりを持って
安心して暮らせるよう、見守り
活動を行うボランティアや、ふれ
あいサロンの運営を支援

567万9,134円

※その他、スポーツや産業の振興、動物園などにも活用。

地場産品の返礼で旭川を広く発信

市では、一定額以上の寄附をしていただいた市外の方へ、感謝の気持ちを込めて、寄附額に応じた農産物や木製品、加工品などの地場産品を送っています。その中の1つ、酒粕^{さけかす}ブルーチーズは、高砂酒造の酒粕を使い、江丹別にある伊勢ファームチーズ工房で作られています。代表の伊勢昇平^{いせしょうへい}さんに話を聞きました。



チーズ作りを通してまちの魅力を高めたい

ブルーチーズを酒粕で熟成した珍しい商品なので、興味を持ってもらうのは難しいかかもしれないと思っていました。でも、実際は返礼品に選んでいただくことが多く、寄附をしてくれる方は、その地域にしかない物、地域の魅力が伝わってくる物に注目していることが分かりました。僕が目指しているのは、世界一のチーズを江丹別で作ること。これからもチーズ作りを通して、旭川そして江丹別を広く発信し、まちの魅力を高めていきたいです。

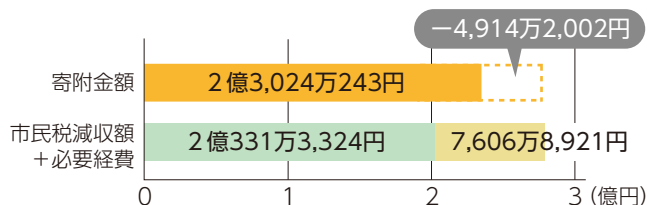


寄附実績は過去最多！一方で…

平成29年度の旭川市への寄附は、過去最多の7,269件、2億3,024万243円。ふるさと納税のシステム利用料や返礼品代金などの必要経費は、7,606万8,921円でした。

一方で、旭川市民が他の自治体へ寄附したことによる市民税の減収額は2億331万3,324円と推計されています。これは、昨シーズンの除雪費のうち、歩道除雪と防滑に対応する経費（約1億6,500万円※）を賄える金額です。下のグラフのとおり、寄附金額から必要経費と市民税の減収額を差し引くと、4,914万2,002円のマイナスとなります。

※除雪計画策定時。



ふるさと納税のPRを行っています

8月に旭川空港で、寄附の呼び掛けや地場産品を紹介するイベントを実施しました。今後も様々なPR活動に力を入れていきます。

